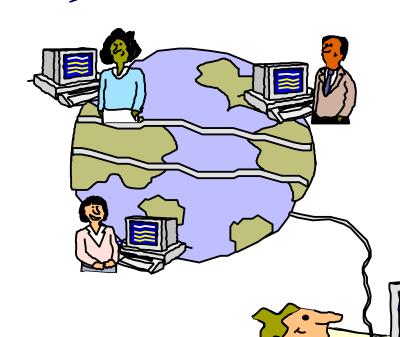
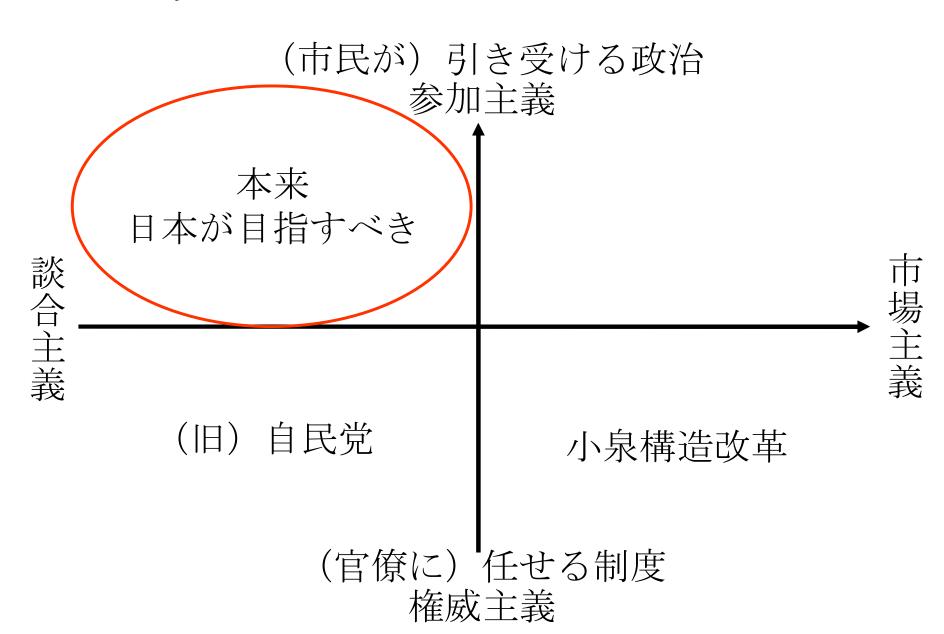
公共事業が日本を救うのか?



2011年2月12日 第2回小さな勉強会

民主党は何を目指していたのか



1. 「コンクリートから人へ」のうそ

- •本当に日本は「特異な国」なのか?
- •今や日本の公共事業費は、先進国並み
- •本当に、「日本の道路は世界トップレベル」なのか?
- •日本の道路サービスは水準は、高いどころか低い
- •本当に、「日本の公共事業費は高い」のか?
- •「借金まみれなのは、公共事業のせい」は本当か?
- •暴走する「公共事業・悪玉論」

2. 「豊かな街」をつくる

- •まちなかでの豊かな暮らし
- •「交通の在り方」と「豊かな暮らし」
- •変わりゆく街の姿
- •クルマの流入が街の姿を変えた
- •クルマを閉め出していれば「シャッター街化」を 食い止められた
- •豊かな都市生活を取り戻すために
- •美しい町並みの実現

2. 「豊かな街」をつくる

「コミュニティ」の重要さ

「三丁目の夕日」から遠く離れて

都心の商店街の壊滅的状態

クルマを野放しにしていた

路面電車が消える

momo

2. 「豊かな街」をつくる



2. 「豊かな街」をつくる

- 1. 都市の周辺に環状道路をつくる
- 2. 環状道路に大規模な駐車場をつくる
- 3. 環状道路の内側にある道路を「歩行者」や「LRT」や「緑地」「自転車」に使えるように、作り替えてゆく
- 4. 日本の歩道も石畳をはじめとした洋々な舗装を行い、歩いてみたくなるような楽しい空間の仕立てる
- 5. 電柱を地中化していくこと
- 6. 郊外に大型の店が出店し続ける状況に、歯止めをかける

3. 「橋」がおちる

- •「ワタルナ、キケン」
- •「荒廃するアメリカ」
- •既に始まっている「荒廃する日本」
- •ぎりぎりで回避された"大惨事"
- •2010年から、本格的な「橋の危険」が訪れる
- •あと20年で、"高齢化した橋"が約半数にもなる
- •「荒廃」からの脱出を図るアメリカ
- •かつてのアメリカよりも深刻な日本の現状
- •最悪の事態を回避するために

4. 「日本の港」を守る

- •凋落する日本の海
- 「日本の貿易」の危機
- •コンテナの「積み替え」の何が「問題」なのか
- •港が小すぎると、経済が打撃を受ける
- •港の大型化が立ち後れてしまった理由
- •地方分権と中央集権についての成熟した議論を

5. 「ダム不要論」を問う

- •ダムは不要か?
- •そもそもダムとは? (利水について)
- •そもそもダムとは? (治水について)
- •八ッ場ダムは必要なのか。無駄なのか?
- •八ッ場ダムに「利水」の効果はあるのか?
- •ハリケーン「カトリーナ」の衝撃
- •東京での水害は「カトリーナ」よりも甚大
- 首都圏の洪水を防ぐためのダム
- •八ッ場ダムに「治水」の効果はあるのか?
- •水害から街を守る

6. 日本は道路が足りない

- •「都市の中の交通」と「都市の間の交通」
- ・「渋滞による損失額は年間12兆円」って何だ?
- •渋滞の解消は、きわめて優先順位の高い国家的課題
- •「渋滯の苦痛」をオカネに換算すると、12兆円になる
- •日本の道路の環境は、先進国の中で最低水準
- •ドライバーは極端な渋滞に悩まされている
- •「高速道路のネットワーク」はもう要らないのか
- •「世間知らず」の日本人
- •国力に甚大な影響を及ぼす高速道路ネットワーク
- •凄まじい高速で高速道路をつくる中国
- •高速道路と都市の力、国の力
- •「道路」についての、冷静な議論を

7. 「巨大地震」に備える

- •地震から「絶対に」逃れられない国、日本
- •想像を絶する被害をもたらす「首都直下型地震」
- •いつ起こってもおかしくない東海・南海・東南海 地震
- •日本は、どこも危ない
- •建物の「耐震性」こそ最善策
- •「人」が死ぬことを防ぐ「コンクリート」は不要 なのか

8. 日本が財政破綻しない理由

- •借金まみれの日本政府に公共事業は無理?
- •「日本政府は破綻する?」とあおる、ニュース報道
- •むしろ、財政出動こそが必要である
- •政府の借金の対GDP比が高いからといって、破綻するわけじゃない
- •今の日本政府が破綻しない理由
- •バランスシートを見れば、「通過危機」は来ないことがわかる
- •「日本の国が破綻する」なんてことも、考えられない
- •「緊縮財政」をする必要なんてない/・「デフレ経済」の本当の恐ろしさ
- •なぜ今、「デフレ」なのか? / 「デフレ」から抜け出すために
- ・デフレでは、国債を発行しても「金利の上昇」は起こらない
- •デフレ下での国債発行による公共投資は、世界の常識
- •「どうやったら、日本がギリシャみたいになるか」を考えてみる
- •「ケインズ」は死んだのか?
- •「金融政策」では、デフレからぬけられない
- •公共事業と公共事業以外による景気浮揚策
- •やはり、公共事業による景気浮揚策が効果的
- •マクロ経済政策との真の融合を

9. 公共事業が日本を救う

- •行きすぎた「公共事業」不要論
- 「もう、公共事業なんて要らない」という説は、 嘘である
- •デフレの時こそ、大規模な公共事業を
- •日本がもつ「超巨大」な潜在的内需
- •公共事業が、日本を救う